



清峰だより

平成 29年 10月 31日 (火) 発行
長崎県立清峰高等学校
学校通信 第 127号
発行責任者 校長 小柳 庸一

「ことばの壁」

教頭 松尾 俊彦

＜コミュニケーション能力＞

随分と秋も深まってまいりました。3年生諸君の就職試験も一段落ですが、私は面接練習の際に必ず次の事を質問していました。「仕事をする上で大切な事は何だと思えますか？」すると、皆、判を押したように「お客様や同僚ときちんとコミュニケーションをとる事だ」と答えます。なるほど、大切な事だと思えます。ところで、最近、学校でも社会でもコミュニケーション能力の重要性が叫ばれるようになりました。逆に言えば、コミュニケーションをうまくとれないから声高に叫ばれているのであって、その裏返しなんだらうとも思います。最近の若者は(というとう年寄りみたくなりませんが・・・高齢者の方すみません)語いが乏しく、的確に表現して伝える能力が劣化しているのかもしれない、と思うことはよくあります。「やばい」だけで全てを表現しているうちはコミュニケーション能力は身につかないでしょうね。この間も、テレビをみていたらJKことば(※JKとは女子高生のこと)なるものが紹介されていました。何でも「まじ、卍(まんじ)」というのが流行っているらしく、説明を聞いても何を言っているのか全く理解できませんでした。この人たちどうやってコミュニケーションがとれるというのだろうか？

＜小さなインド人の店＞

ことばがうまく伝わらない原因には大きく2種類あって、一つは事柄そのものを誤解していること、もう一つは伝え方や聞き方の間違いの二つだと思えます。

高知にハンドボールの試合に行った時の話です。龍馬像が建つ桂浜に行き、壮大な海を眺めていると、選手一人が、「先生、赤道がきれいですね」と話しかけてきました。

「ほー、君には赤道が見えるのか?」・・・・・・・・・・・・・・・・※多分、というか水平線と間違っていることは明らかなんですけど、「間違うにも程がある!」

もう一つ、まだ、若かった時の話です。妻と二人でインド料理を食べに行くことになりました。当時、長崎にはインド料理の店も少なかったのですが、妻は何かでその店を知ったようで、私に紹介しました。長崎の鍛冶屋(かじや)町の通りを歩いていると、「その角を曲がった所に、小さなインド人の店があるよ」と妻はいいました。なるほど、ごちんまりした小さなインド料理店がそこにありました。わたしは店長がどの位の大きさの方なのか、興味がありましたが、普通サイズの店長さんが出てきました。そして、二人で大笑いしました。「お前、小さなインド人の店ってゆうたろが?」「いや、インド人が経営している小さな店」・・・言葉って難しいですね。

新生徒会執行部発足

8月末に行われた選挙で決定した、新生徒会長の伊東歩夢君、副会長の吉村葉奈さん、福泉麟太郎君に14名の総務が加わり、今年度後期から1年間の任期で新生徒会執行部が発足しました。17名力を合わせて頑張りますので宜しくお願いします!



新生徒会長 抱負

一年二組 伊東歩夢

私は今まで、生徒会など学校を引っ張る立場に立つたことがありませんでした。しかし前生徒会執行部の活躍を見て、私も生徒会に関わりたいと思つようになりました。まず、一番の目標は文化祭です。昨年よりもさらにパワーアップした文化祭を作りあげたいです。まだ未熟な私ですが、早く慣れて清峰高校の更なる活性化に努めていきたいです。

一年間どうぞよろしく願います。

1・2年生三者面談

9月から10月にかけて、1・2年生を対象に三者面談を行いました。1年生は来年度の系列及び科目選択を中心に、2年生は卒業後の進路等について話し合いました。これから、生徒一人ひとりが進路実現に向けて目標をもって歩み始めていきます。保護者の皆様、お忙しい中の来校ありがとうございました。

学校説明会・入試説明会 開催

10月7日(土)、14日(土)の2週にわたり、中学生やその保護者を対象とした本年度3、4回目の学校説明会を開催しました。2回で100名ほどの参加者があり、そろそろ進路を決定する時期ということもあり、みなさん真剣に説明を聞いていました。

また、10月16日(月)には、佐世保、松浦、平戸市内、佐々町内の中学校の先生方を対象とした、入試説明会を行いました。当日は25名の先生方参加の中、本校の特徴や進路、入試関係の書類の書き方などの説明を行いました。

PTA懇親球技大会

10月6日(金)19時から佐々町民体育館においてPTA親睦球技大会が開催されました。毎年雨や台風にたたられ、中止になることが多かったこの大会。今年も午前中まで雨。ソフトボールができず、男女混合のソフトバレーに変更。終了後の懇親会も大盛況でした。

PTA地区別研修会

10月21日(土)、鹿町地区公民館において、長崎県公立高等学校PTA連合会地区別研修会が開催され、長崎県教育委員の浦川末子先生による「子どもの主体的な自立のために」と題しての講演や、平戸高校PTAによる研究発表が行われました。

部活動結果報告

【JRC部】

日本赤十字社創立140周年記念
青少年赤十字活動表彰

【県総文祭 美術部門】

デザイン部門	優良賞	2年	川口	慶十
絵画部門	入選	3年	坂本	智哉
		1年	中村	希美
		1年	平田	あいり

～地区新人大会～

【剣道】 女子団体 第2位
女子個人 第2位(1年 谷山 楓)

【ハンドボール】 第3位

【バドミントン】

個人ダブルス ベスト12(2年 松江・牧尾)

【バレー】 第3位

【卓球】

女子学校対抗 第2位
女子ダブルス 第2位(2年 宮田・木寺)
女子シングル ベスト8(2年 宮田杏奈)

11月の主な行事予定

- 1日(水) 人生の達人セミナー
- 4日(土) 対外模試(3年)～5日
- 5日(日) 英検2次
- 7日(火) DV防止教室(1年)
- 9日(木) 心の健康講話
- 10日(金) 漢字検定
県総文祭(諫早)
統一あいさつ運動
- 11日(土) 土曜補習(3年)
- 12日(日) 全商電卓検定
- 18日(土) 土曜補習(3年)
- 20日(月) 考查時間割発表
- 21日(火) マナー講話(1年)
- 26日(日) 全商ビジネス文書検定
- 27日(月) 第3回考查
～12/1(金)まで



分野別出前講座(2年)

10月17日(火)5・6時間目に、2年生の「総合的な学習の時間」で分野別出前講座が実施され、県内・外の大学、専門学校から計7名の講師の先生方を本校にお招きしました。目的は、①次年度の課題研究に向けて関心のある分野への見聞を広げる②進路研究の一環として、志望進路に関する分野を学ぶというものです。当日は、7講座に分かれての講義でしたが、生徒は真剣に聞き、グループワーク等に励んだりする姿が見受けられました。

【講話していただいた先生方】

①生活・栄養分野	西九州大学	熊川 景子 先生
②スポーツ分野	長崎リハビリテーション	三原 和行 先生
③マーケティング分野	長崎純心大学	吉武 久美子先生
④保育分野	長崎純心大学	田中 珠美 先生
⑤看護分野	専門学校麻生看護大学校	百瀬 栄美子先生
⑥地域・社会分野	長崎県立大学	芳賀 普隆 先生
⑦製造分野	長崎総合科学大学	松岡 和彦 先生



<生徒の感想(保育分野)>

保育や教育について写真や実物等を使った講義をしていただいたので、楽しく多くのことを学ぶことができました。子どもと関わる仕事は大変で難しいですが、子どもと接し、向き合うことで一緒に成長できたり、逆に気づかされたりするなど、魅力のある仕事であるということを改めて理解することができました。子どもだけでなく多くの方から尊敬され、手本となるような保育教育者になりたいと強く思いました。この貴重な話を聞くことができた機会や出会いに感謝して、今後の生活から質を高めていきたいです。

職業人講話(1年)

10月17日(火)の5校時、1年生の「産業社会と人間」で職業人講話を実施しました。毎年1年生は、9月下旬より「職業理解」というテーマで授業を進めています。さらに、生徒に職業について考えさせ、望ましい勤労観・職業観を育むために、本校の近隣地域に居住する職業人の方を講師としてお迎えし、この講座を開催しています。今年は、本校の卒業生で、地元佐々町で「Pizza Dining shin'5」を経営されている、山崎眞吾さんを講師としてお迎えし、「楽しく生きるためには」という題でお話をいただきました。

山崎さんからは、人生を楽しく彩るために前向きに仕事に取り組む大切さや、周囲への感謝の心を持つことで愛される人間になって夢を叶えることができるということなど、多くの貴重なお話をいただきました。生徒にとっては、地域社会に貢献する人材として働く、自分自身の将来像について考える有意義な体験になったのではないかと思います。

<生徒の感想>

今回の講話は、眞吾さんの生き様がとても参考になる内容でした。話の中で一番好きだったところは、大人になれば、自由になれる、ということでした。自分の努力次第で何にでもなれるし、何でもできる。夢を叶えるためなら、努力、いくらだってします。自分にできることはやって、できないことは他の人にしてもらって、そのたびに感謝してそれを繰り返す、「愛される」人を目指して頑張ります。



読書の秋

図書研修部

10月27日から11月9日は、読書週間です。みなさんは、今年、何冊本を読みましたか？

本を手にとって、作者と一緒に本の世界に入ってみませんか？普段の自分とは違った感覚がわき起こってくるかもしれません。

図書館では、今年度10月初めまでに193冊の新着本を受け入れています。人生を左右する本が見つかるかもしれません。ぜひ、図書館に足を運んでください。

図書委員会では来館者数5000人、貸出冊数2000冊を年間目標に活動しています。9月までの来館者数は、2211人、貸出冊数は949冊です。秋の夜長、スマホではなく読書にふけるのも一興かもしれません。



介護職員初任者研修

本研修は介護職の基本となる資格で、授業を通して介護の知識・技術だけではなく、高齢の方との関わり方や介護・福祉の考え方等も学び、就職に有利だけでなく、支援が必要な人に対して、より良いサービスを提供することができるようになります。

本校での実施は、今年で5回目となります。生活福祉系列の福祉選択生を対象に、2年次10月～3年次7月までの授業を活用し行いました。校内で行われる講義・実習や校外の福祉施設等での実践的な実習の中で様々な体験を通して、介護の専門的知識・技術・態度を身に付けました。今後も理想の介護士像に近づけるよう頑張りましょう。

いきいき地域交流事業

今年度の3年福祉選択生は、7月に介護職員初任者研修を修了し、これまで学んだ福祉の知識を更に発展させるために、9月から水曜の午後の授業を利用して近隣の高齢者施設を訪問しています。今年は計4回の訪問を計画しています。自分たちで考えた様々な交流プログラムの実践を通じて、介護の難しさややりがいを感じているようです。この活動によって、たくさんの方々と出会い、将来、きめ細やかな心遣いのできる介護士になれるよう期待しています。

